

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

学級経営目標

家庭との連携、学級相互の連携を図りながら、いつも明るく元気に最後までがんばる子どもを育てる。

学級重点目標

- 1 友達に優しくでき、元気のよい返事やあいさつができる子どもを育てる。
- 2 運動することの楽しさを知り、楽しんで体力づくりに取り組む子どもを育てる。
- 3 話を最後までしっかり聞き、自分の考えをしっかりと伝える子どもを育てる。
- 4 保護者との連携を密にしながら、子どもの健全育成に努める。

(4：努力して工夫して実践し、大いに成果があった 3：工夫して実践し、成果があった 2：実践したが努力・工夫が足りなかった 1：実践できなかった)

			1 学期	2 学期	3 学期	1 学期反省
学級経営の 具体策	Ⅰ 豊かな心と健やかな体	1	道徳の授業を充実させ、実践できるようにする。	2		子どもたちが道徳の授業で学習したことを普段の生活の中で活かす場面があまり見られなかった。
		2	学級での仕事や学年・学校行事での自分の役割を知り、最後まで責任をもって取り組んだり、友達と協力したりすることの大切さに気付かせる。	3		係・当番活動では、自分の役割に誇りをもって、進んで取り組む様子が多くの子どもからみられた。
		3	1日1回は子どもに声かけを行い、児童理解に努める。	3		毎朝一人一人に元気よく挨拶をすることで、子どもたちも元気な声で挨拶を返してくれるようになった。
		4	「ハチツボネブ」の声かけを行うことで容儀指導の徹底を図り、家庭との連携に努める。	3		忘れ物ゼロを達成することができなかった。
		5	体育の授業の中で体力づくりの継続的な指導を取り入れ、運動量の確保に努める。	3		体育の時間はそれぞれが一生懸命取り組む姿が見られた。休み時間はあまり見られなかった。
		6	交通安全や不審者情報について具体的に話を行い、繰り返し指導を行うようにする。	4		交通安全教室や防犯教室で学習したことを活かして、登下校することができた。
	Ⅱ 確かな学力と個性の伸長	1	基本的な学習のきまりをくり返し確認し、基礎学力の定着に努める。	3		テスト前に対策プリントを行うことで学習の定着を図った。
		2	朝読書の時間や図書室を効果的に利用することによって、読書に興味をもたせ、進んで本を読む子どもの育成を図る。	3		図書室で進んで本を借りる姿が多く見られた。学校全体の中でもたくさん借りている子たちの割合が多かった。

		3	家庭学習の仕方が分かり、継続して家庭学習に取り組む子どもの育成を図る。	3		宿題はほとんどの子どもたちが取り組むことができた。たまに忘れる姿も見られた。
Ⅲ 信頼される学校づくり		1	学級通信や連絡帳を通して、子どもの様子を知らせ、家庭と協力して子どもの育成を図る。	4		週報を発行することで、日々の様子や学習状況を知らせることができた。
		2	全保護者と教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努める。	3		家庭訪問や個別に教育相談を行って、子どもたちの情報を共有することができた。
		3	PTA 活動や地域行事に積極的に参加するとともに、子どもの地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、子どもに学校が地域に支えられていることに気付かせる。	2		新型コロナウイルスの状況が落ち着き、コロナ前の行事や地域行事が再開されてきた。

〈生活面〉

① 宿題について

宿題プリントはほとんどの子どもたち必ず取り組んでいるが、数名、取り組み切れない子どもたちがいる。

② ハチツボネブについて

全員が「ハチツボネブ忘れゼロ」を目指し、繰り返し声かけを行ったが、達成することができなかった。1学期が終わる前に1回でも揃うように、忘れ物ゼロを目指して取り組んでいきたい。

③ 忘れ物について

忘れものは少なかった。ただ学校に不要な物（シャープペンシルなど）を持ってきている姿が見られた。

〈学習面〉

① 授業について

授業中はおしゃべりをすることなく、集中して取り組む姿がよく見られた。ただ積極的に発表する子が少ない。指名すると、しっかり答えを発表できることが多いので、自分たちの考えに自信が持てるとよい。

② 学力の定着について

どの教科のテストも全体的に高い平均点を出すことができた。事前にテスト対策を子どもたちが一生懸命取り組んだ結果がでた。特に学習が今まで苦手だった子たちがテスト対策をしっかりすることで高得点を取る姿が何名か見られ、自信に繋げることができた。中学校に向けて、積み残しがないように6年間の学習内容をしっかり定着させていきたい。

〈その他〉

6年生に進級し3ヶ月が経過し、子どもたちも最高学年としての自覚を持ち、学校生活を過ごす姿がたくさん見られるようになった。様々な学校行事の中で、常に下級生の手本にならないプレッシャーに負けることなく、しっかり手本となる姿を見せることができています。休み時間と授業中のメリハリもしっかりつけることができ、互いに協力し合えるような雰囲気を作ることができています。友達に対して、傷つくような言葉を発する場面もまだまだありますが、1つ1つ自分の今の行動の何が悪かったか、考え、成長する姿がたくさん見られ、トラブルは減ってきている。どんな相手にも思いやりを持って接することができるようになってほしい。